

① 研究課題名：

右半結腸切除における股の補強 — 臨床的検証 —

② 研究の目的：

消化器外科手術では、linear stapler（手術用自動縫合器）のみを用いるside-to-side anastomosis（SSA、側々吻合）という術式が主流になっています。SSAの術式では縫合部分に股が必ず形成されることになり、耐圧の面で弱点となっています。以前に我々が行った動物の小腸を用いた4通りの股の補強方法で耐圧を比較した実験結果では、耐圧が最も高かったのは「エンドGIA™トリステーブル™リンフォース」（以下、リンフォース）を用いた方法でした。この結果から、名古屋市立東部医療センターにおいては2019年1月以降の右半結腸切除手術はリンフォースを用いて行っています。本研究では、これらの症例の手術後合併症を調査することで、臨床でのリンフォースの股に対する耐圧性が明らかにできると考えています。

③ 研究期間：

西暦 2020年 7月 ～ 西暦 2020年 7月 31日

④ 研究代表者：

名古屋市立東部医療センター 消化器外科 江口 祐輝

⑤ 研究の対象：

名古屋市立東部医療センター消化器外科にて、西暦 2019年 1月 1日から 2019年 11月 30日の間に右半結腸切除術をうけられた方。

⑥ 調査項目：

- ・ 基本情報：年齢、性別
- ・ 術後経過：手術当日から退院日までの合併症の有無（縫合不全、術後出血）

⑦ 研究の方法：

担当医師が対象となる方の診療録より⑥調査項目の情報を調査し、「調査用紙」に記入し、集計・解析されます。

⑧ 研究成果の公開

この研究の結果は、消化器外科学会にて発表されます。

⑨ 個人情報の保護

この研究で使用する情報に、個人を特定する情報（お名前、ID、住所等）は含まれませんので、あなたの個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。

⑩ 利益相反

本研究に係る利益相反はありません。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	所属	研究責任者
名古屋市立東部医療センター 住所：〒464-8547 名古屋市千種区若水1丁目2番23号	消化器外科	江口 祐輝 TEL：052-721-7171（代表）